

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
32111	『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	2
32111	フィールドミュージアムアカデミー久谷カレッジ運営事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	3
32113	愛ランド里島構想推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	4
32113	里島地域おこし推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	5
32113	姫ヶ浜荘等管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	6
32114	風早レトロタウン構想促進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	7
32141	移住定住促進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	8
32214	三津浜地区活性化推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	9
61111	地域におけるまちづくり推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	10
61111	地域協働活動応援事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	11
61112	コミュニティ活動振興事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	12
61121	NPOサポートセンター運営管理事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	13
61121	市民活動推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	14
69999	表彰制度実施事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	15

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	坂の上の雲まちづくり担当	連絡先	948-6996
------	-------------	-----	----------	-----	--------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり事業		事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営
32111							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】		各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			○	○	○	○
施策	選ばれる都市づくり						
主な取組	まちの特性を生かした魅力づくり		根拠法令	『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり基本構想、			
取組みの柱	フィールドミュージアム構想の推進			『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり基本計画			
目的・背景	目的:小説『坂の上の雲』の3人の主人公が抱いた高い志とひたむきな努力、夢や希望をまちづくりの基本理念に取り入れて、既存の地域資源を最大限活用し、主人公たちのように夢や希望を持ちながら、官民一体となって「物語」が感じられるまちを目指すもの。 背景:市民とともに物語の随所に描かれる松山の特性を再認識しつつ、将来のしっかりとした都市像を描き、その実現に邁進する姿を発信できれば、観光分野はもとより、まちづくりが大いに進展すると考え、市長公約に基づき開始。						
対象・内容	『坂の上の雲』のまちづくりに対する市民への周知や、まちづくりへの参加意識の醸成を図るとともに、地域資源を活かした市民活動の支援等を通じて、市民主体のまちづくり推進する。 ○市民啓発事業 1.『坂の上の雲』ふるさとウォーク 2.まちづくりマップ印刷 3.サイクルロゲイニング大会 4.挑め！FMM(『坂の上の雲』フィールドミュージアムマスター) 5.『坂の上の雲』のまちを巡ろう360度市民リレー動画						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	『坂の上の雲』ふるさと ウォーク開催負担金		5,200
予算 (千円)	事業費計	11,650	10,462	11,448			サイクルロゲイニング大会 開催負担金	1,800	
	国費・県費						地域の宝みがきサポート 事業補助金	896	
	市債								
	その他		10	10					
	一般財源	11,650	10,452	11,438					
決算 (千円)	事業費計	11,207	10,219			主な 取組 内容 【R4】	・『坂の上の雲』ふるさとウォークの開催 ・サイクルロゲイニング大会の開催 ・地域の宝みがきサポート事業の実施		
	国費・県費	1,043							
	市債								
	その他	10	10						
	一般財源	10,154	10,209						
人役	正規職員	3.0	3.0	3.0		特記 事項			
	その他	0.1	0.1	0.1					
	合計	3.1	3.1	3.1					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	フィールドミュージアム マップ配布数		目標	500	500	500	500	令和3年度に目標以上の配布を行い、令和4年度は必要部数のみ追加で配布したため。	
			実績	2277	238				
	単年で増	冊	達成率	455%	47.6%				
成果指標	地域資源を活かした市民 活動を実施した団体数		目標	50	52	54	54	支援事業の説明や募集を計画的に行うことで目標を達成することが出来た。	
			実績	52	55				
	累計で増	件	達成率	104%	105%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	啓発イベントや地域活動の支援等を実施することで、市民に郷土の歴史や文化を再認識してもらうことが出来た。しかし、若い世代の『坂の上の雲まちづくり』に対する認知度は依然低いままであるため、今後効果的な啓発について手法を探る必要がある。							
課題	若い世代への効果的な啓発を図る必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本事業の実施により、フィールドミュージアム構想の実現に寄与しているため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	坂の上の雲まちづくり担当	連絡先	948-6996
------	-------------	-----	----------	-----	--------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	フィールドミュージアムアカデミー久谷カレッジ運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32111							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						
施策	選ばれる都市づくり		○	○	○	○	
主な取組	まちの特性を生かした魅力づくり	根拠法令					
取組みの柱	フィールドミュージアム構想の推進						
目的・背景	久谷地域が持つ地域特性や資源について、その歴史や価値を研究・再評価し、有効に活用することで、地域活性化につなげるとともに、地元のまちづくりへの若い世代の参画を促し、持続的な発展を目指す。						
対象・内容	久谷地域全体を「フィールドミュージアムアカデミー久谷カレッジ」と位置付け、行政と地域まちづくり団体、地元大学が連携し、下記の取り組みを実施 ①くたに学 ②フィールドミュージアムアカデミー大学祭 ③くたにラボ						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	フィールドミュージアムアカ デミー久谷カレッジ運営事業 負担金		2,000
予算 (千円)	事業費計	0	2,000	1,000					
	国費・県費	-							
	市債	-							
	その他	-							
	一般財源	-	2,000	1,000					
決算 (千円)	事業費計	0	2,000			主な 取組 内容 【R4】	・くたに学 ・フィールドミュージアムアカデミー大学祭 ・くたにラボ		
	国費・県費	-							
	市債	-							
	その他	-							
	一般財源	-	2,000						
人役	正規職員	-	0.2	0.2		特記 事項			
	その他	-	0.0	0.0					
	合計	0.0	0.2	0.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	地域まちづくり団体、地元大学との連携事業の実施数		目標	-	5	5	5	関係団体と情報共有を密に行い、計画的に事業を進めることが出来た。	
			実績	-	6				
	単年で増	回	達成率	-	120%				
成果指標	イベントの参加者数		目標	-	1,000人	1,000人	1,000人	イベント当日の天候の影響等により、目標を達成することが出来なかった。	
			実績	-	785				
	単年で増	人	達成率	-	78.5%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	まちづくり協議会などの地域まちづくり団体、地元大学と連携した取り組みを実施し、若い世代のまちづくりへの参加を促すことが出来た。							
課題	事業終了後も継続的に連携が出来るような素地づくりが求められる。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	地元大学や関係団体と連携し、久谷地域の地域活性化に繋げることが出来ているため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	愛ランド里島構想推進担当	連絡先	946-6816
------	-------------	-----	----------	-----	--------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	愛ランド里島構想推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
32113							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						
施策	選ばれる都市づくり		○	○	○	○	
主な取組	まちの特性を生かした魅力づくり	根拠法令					
取組みの柱	愛ランド里島構想の推進						
目的・背景	過疎化・少子高齢化が急速に進む島しょ部(忽那サブセンターゾーン)の持続的な発展と活性化を目的とする。 愛ランド里島構想の重点プロジェクトである「定住促進」「里島ツーリズムの促進」などを旨とする取組として開始された。						
対象・内容	本市島しょ部の持続的な発展と活性化に資する以下の取組を行っている。 ・まつやま里島ツーリズム連絡協議会の活動支援等による里島ツーリズムの推進(対象者:来島者及び島しょ部の住民 補助金の交付先:まつやま里島ツーリズム連絡協議会) ・独身者を対象とした出会いの機会の創出(対象:島しょ部の独身男性 委託先:愛媛県法人会連合会(えひめ結婚支援センター)) ・移住フェアでのPR等による定住の促進(対象:都市部住民ほか) ・島しょ部からの通勤・通学者の支援等による定住の促進、親を離れて下宿する学生を持つ親への支援、松山北高校中島分校へ通学する生徒への補助 ・離島振興関係団体への加入による情報収集及び情報発信 ・移住促進施設や里島空き家バンクの整備による定住の促進(対象:移住を考えている方 委託先:興居島体験滞在型交流施設管理組合など)						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	離島振興費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費 〔千円〕 【R4 決算】	まつやま里島ツーリズム連絡協議会への補助金等の補助金		23,904
予算 〔千円〕	事業費計	54,813	59,305	58,436			里島出会い創出業務委託等の委託料		14,767
	国費・県費	5,667	10,512	7,511			愛媛県離島振興協議会負担金等の負担金		575
	市債								
	その他	4,347	4,347	4,347					
	一般財源	44,799	44,446	46,578					
決算 〔千円〕	事業費計	35,343	42,111			主な取組 内容 【R4】	まつやま里島ツーリズム連絡協議会への補助金の支出・運営支援		
	国費・県費	6,466	10,166				里島活性化事業（出会いの機会の創出等）		
	市債						お試し移住施設や里島空き家バンクの整備		
	その他	2,845	3,543				による定住の促進		
	一般財源	26,032	28,402						
人役	正規職員	4.4	3.6	3.6		特記 事項			
	その他								
	合計	4.4	3.6	3.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	島しょ部への移住定住促進や 交流人口拡大に向けた県外で のPR回数	目標	5	5	5	5	新型コロナウイルス感染症の影響により県 外への移動が制限されていたため、目標を 達成できなかった。		
		実績	1	2					
		単年で増	回	達成率	20%	40%			
成果指標	里島めぐり体験メニュー 参加者数	目標	8,000	8,000	8,900	9,000	期待した成果をあげることができた。		
		実績	4,492	8,748					
		単年で増	人	達成率	56.2%	109.4%			
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	・島の特色を生かした体験メニュー等を実施し、交流人口の増加を図ることができた。 ・出会いの機会の創出、お試し移住施設、里島空き家バンク等による移住・定住促進につながった。 ・姫ヶ浜荘を活用したサステナブルツーリズムの推進による関係人口の拡大につながった。							
課題	特に無し					今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	交流人口・関係人口の拡大に繋げるよう島 しょ部の活力を再生し持続的発展と活性化 に継続して取り組むため

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	愛ランド里島構想推進担当	連絡先	948-6816
------	-------------	-----	----------	-----	--------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	里島地域おこし推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営
32113						
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	○	○	○
施策	選ばれる都市づくり					
主な取組	まちの特性を生かした魅力づくり	根拠法令				
取組みの柱	愛ランド里島構想の推進					
目的・背景	平成24年3月に策定された『愛ランド里島構想』に基づき、構想の重点プロジェクトの一つである定住の促進を図りながら、外部の視点ならではの地域の魅力発信等により、里島ツーリズムの促進も図っていくことで、構想の趣旨である島しょ部の持続的な発展と活性化を目指す。					
対象・内容	対象:地域おこし協力隊 事業内容:地域おこし協力隊が行う、島しょ部の持続的な発展と活性化のために必要な活動支援を行う。					

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	離島振興費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費 (千円) 【R4 決算】	会計年度任用職員報酬		4,917
予算 (千円)	事業費計	9,079	9,479	12,997			会計年度任用職員手当	875	
	国費・県費	548	500	1,000					
	市債								
	その他								
	一般財源	8,531	8,979	11,997					
決算 (千円)	事業費計	6,143	7,699			主な取組 内容 【R4】	最長3年間の雇用で、初年度はまず「地域を知る」ことをテーマに、地域の行事・イベントなどに積極的に参加・協力し、島しょ部の認知度向上を図った。2年目以降は情報発信に加え、任期満了後の定住に向けた活動にも取り組んだ。		
	国費・県費	0	0						
	市債								
	その他								
	一般財源	6,143	7,699						
人役	正規職員	0.8	0.8	0.8		特記 事項			
	その他								
	合計	0.8	0.8	0.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	SNS等での情報発信回数(1人あたり)		目標	50	50	50	50	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等の開催数が減ったため、目標値を達成できなかった。	
			実績	46	48				
	単年で増	回	達成率	92%	96%				
成果指標	隊員が連携した地域団体数		目標	9	9	9	9	隊員が新たに農業関係団体との連携を開始したため、目標値を大きく上回ることができた。	
			実績	16	13				
	単年で増	団体	達成率	177.8%	144.4%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	地域事業に積極的に参加するなど。地域の団体との連携を図るとともに、自立に向けた様々な活動に取り組んだ。							
課題	特に無し					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	自立に向けた様々な活動に励む。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	愛ランド里島構想推進担当	連絡先	948-6816
------	-------------	-----	----------	-----	--------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	姫ヶ浜荘等管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	3:指定管理	
32113							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						
施策	選ばれる都市づくり		—	—	—	—	
主な取組	まちの特性を生かした魅力づくり	根拠法令	松山市姫ヶ浜荘条例、松山市姫ヶ浜荘施行規則				
取組みの柱	愛ランド里島構想の推進						
目的・背景	島しょ部の交流人口拡大による地域の活性化を図るため、島外から中島を訪れる方の宿泊やキャンプ利用の受け入れ施設である姫ヶ浜荘等の維持管理を行う。						
対象・内容	対象(施設): 姫ヶ浜荘・長師休憩所・大串キャンプ場 事業内容: 市内外から利用のある上記対象施設の管理を行う。姫ヶ浜荘は利用料金制の指定管理で指定管理料の支出はない。長師休憩所及び大串キャンプ場は施設のある地元地区へ管理委託料を支出している。そのほか、施設の維持管理に必要な光熱水費や設備点検費用等を支出する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	離島振興費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	光熱水費		3,336
予算 (千円)	事業費計	8,466	9,151	10,692			サメネット設置、浄化槽保守点検ほか委託料		3,898
	国費・県費								
	市債								
	その他	2,300	2,300	3,000					
	一般財源	6,166	6,851	7,692					
決算 (千円)	事業費計	9,839	8,985			主な 取組 内容 【R4】	姫ヶ浜荘等の維持管理業務(指定管理(利用料金制)) 指定管理者:特定非営利活動法人ふれ愛ランド中島		
	国費・県費								
	市債								
	その他	1,954	2,638						
	一般財源	7,885	6,347						
人役	正規職員	0.8	0.8	0.8		特記 事項			
	その他								
	合計	0.8	0.8	0.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	リーフレット配布箇所		目標	27	29	31	33	金融機関や商業施設へ新たにリーフレットを配布したため、目標値を達成できた。	
			実績	30	30				
	累計で増	箇所	達成率	111.1%	103.4%				
成果指標	姫ヶ浜荘利用者数		目標	1,500	1,550	3,750	3,800	天候にも左右されるが、リーフレット配布や動画作成などのプロモーション活動により目標を達成できた。	
			実績	1,945	3,716				
	累計で増	人	達成率	129.7%	239.7%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	施設のリニューアルや周知の効果により、大幅な利用者数を確保できた。							
課題	特に無し					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	施設の利用者を安定的に確保する。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	風早レトロタウン構想促進事業担当	連絡先	089-948-6991
------	-------------	-----	----------	-----	------------------	-----	--------------

1.事業概要【Plan】

事業名	風早レトロタウン構想促進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32114							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						
施策	選ばれる都市づくり		○	○	○	○	
主な取組	まちの特性を生かした魅力づくり	根拠法令	松山市風早レトロタウン構想				
取組みの柱	風早レトロタウン構想の推進						
目的・背景	鹿島の渡船利用者が年々減少傾向になるなど地域資源の魅力を十分に引き出せず、産業でも松山地区への通勤・通学により昼間人口が減少するなど、かつてのにぎわいを失っている。「坂の上の雲フィールドミュージアム」のサブセンターゾーンとして位置づけられている北条地域の活性化を図るため、地域の抱える課題解決に向けた取り組みを進めることにより、住民一人ひとりが笑顔で暮らせる活気のある地域を目指す。						
対象・内容	北条地域の地元住民や商工関係者、まちづくり協議会等の団体が構成している「風早活性化協議会」が主体となって、北条地域の資源活用事業やイベント開催による誘客事業、北条地域の魅力体験型事業、郷土料理である北条鯛めしの普及など、北条地域への誘客に繋げるとともに、交流人口の拡大を図っている。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費 (千円) 【R4 決算】	風早活性化協議会への負担金		2,731
予算 (千円)	事業費計	5,402	4,888	4,888			風早活性化事業補助金 (鍵盤楽器コンサート)		100
	国費・県費								
	市債								
	その他	990	753	1,150					
	一般財源	4,412	4,135	3,738					
決算 (千円)	事業費計	1,832	2,836			主な取組 内容 【R4】	・地域住民が一体となって実施するイベント 「風早にぎわいレトロまつり」を実施 ・北条地域誘引のための情報発信 ほか		
	国費・県費								
	市債								
	その他	990	753						
	一般財源	842	2,083						
人役	正規職員	2.0	2.0	2.0		特記事項	組織再編成に伴い繰越金を優先的に使用し、 残額を松山市へ還付したことから、令和4年度の執行率が58%となった。		
	その他								
	合計	2.0	2.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
成果指標	風早活性化協議会会員数		目標	55	55	—	—	継続して活動することで会員数を維持。	
			実績	56	55				
	単年で増	人	達成率	101.8%	100%				
成果指標	風早にぎわいレトロまつり出店・出演団体数		目標	60	60	60	60	新型コロナウイルスの状況を確認しながら開催を決定したため、十分な周知期間を確保することができなかった。	
			実績	0	41				
	単年で増	団体	達成率	0%	68.3%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	風早にぎわいレトロまつりの出店・出演団体数は目標に届かなかったが、検温や消毒等の感染症対策を徹底し、学生をターゲットとした企画を組み合わせイベントを実施したことで、北条地域内外からの誘客を想定通り図ることができた。							
課題	北条地域が一体となった住民主体のまちづくりや、文化と歴史、スポーツ、地場産品、観光等の資源を活用したにぎわい創出の機運醸成が求められる。					今後の方向性	一部見直し	左記の理由	風早レトロタウン構想に則り、令和5年度より「北条地域」全域の活性化を図るため、新たな行動指標と成果指標を設定する。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	移住・定住	連絡先	948-6095
------	-------------	-----	----------	-----	-------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	移住定住促進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
32141							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する		○	○	○	○	
施策	選ばれる都市づくり						
主な取組	移住・定住の促進	根拠法令					
取組みの柱	移住の促進						
目的・背景	移住候補地として本市の認知度を獲得することにより、移住検討者に移住地として選ばれるほか、本市に住み続ける人やUターンする人の増加を目的とする。						
対象・内容	対象:首都圏及び関西圏などの都市部在住の移住希望者や松山在住の学生等。 事業内容:下記のとおり 1.松山アンバサダー拡大事業の実施 2.移住ウェブサイトの運営 3.まつやま圏域移住フェアの開催 4.松山の暮らしを体感する移住ツアーの実施 5.松山市外の都市部の女性と、松山在住の男性との出会いの場を提供する「まつやま婚ツアー」の実施 6.東京や大阪で開催される移住フェアへの出展【負担金支出先:えひめ移住交流促進協議会、特定非営利活動法人 100万人のふるさと帰帰・循環運動推進・支援センター】						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	松山アンバサダー拡大事業委託料		17,600
予算 (千円)	事業費計	37,228	38,258	36,000			移住体感ツアー運営事業業務委託料		7,666
	国費・県費	14,356	14,569	13,112			移住ウェブサイトプロモーション事業業務委託料		5,024
	市債								
	その他								
	一般財源	22,872	23,689	22,888					
決算 (千円)	事業費計	34,557	36,519			主な 取組 内容 【R4】	・松山アンバサダー拡大事業の実施 ・移住ウェブサイトの運営 ・松山暮らしを体感する移住ツアーの実施 ・「まつやま婚ツアー」の実施 ・東京などで開催する移住フェアへの出展		
	国費・県費	15,404	16,778						
	市債								
	その他	1,000	2,000						
	一般財源	18,153	17,741						
人役	正規職員	3.0	3.0	3.0		特記 事項			
	その他			1.0					
	合計	3.0	3.0	4.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	移住ツアー、移住フェアの回数		目標	15	25	25	25	オーダーメイド型移住ツアーの拡充や移住フェアへの積極的な出展により、目標を達成した。	
			実績	15	25				
	単年で増	回	達成率	178%	176.1%				
成果指標	県外からの移住者数		目標	1,460	6,200	8,300	10,500	移住希望者のニーズに合わせた情報提供や取組により、目標を達成した。	
			実績	4,295	7,082				
	累計で増	人	達成率	775%	146.3%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	移住ツアーの実施や移住フェアへの積極的な出展のほか、移住希望者のニーズに合わせた情報提供や取組により、予定を上回る移住者数を達成できた。							
課題	「移住ツアー、移住フェアの回数」「県外からの移住者数」とともに目標値を達成しているが、10代・20代の若者の転出超過が続いており、今後も若い世代や子育て世帯の定着やUターンの促進に向けて重点的に取り組む必要がある。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	人口減少が進む中、日本全国から「住みたい」「住み続けたい」と思われるまちを目指す。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	三津浜地区活性化担当	連絡先	948-6942
------	-------------	-----	----------	-----	------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	三津浜地区活性化推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
32214							
基本目標	地域の魅力・活力があふれるまち【産業・交流】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						
施策	観光産業の振興		○	○	○	○	
主な取組	観光都市としての魅力向上	根拠法令	三津浜地区活性化計画				
取組みの柱	三津浜地区の観光拠点化						
目的・背景	三津浜地区は、港町独自の歴史や文化、魅力ある古民家など数多く残っているが、港町としてのまちの活力が失われ、商店街では空き店舗が目立つようになっている。 「坂の上の雲フィールドミュージアム」のサブセンターゾーンとして位置づけられている三津浜地区の活性化を図るため、港町として栄えた面影が今も息づく歴史や文化など、三津浜地区の魅力ある地域資源を活用し同地区のにぎわいを創出する。						
対象・内容	【対象】 負担金交付先:三津浜地区にぎわい創出委員会 【事業内容】 三津浜地区の新たなにぎわいを創出する取り組みを実施する。 ○三津浜地区にぎわい創出実行委員会 ・三津浜地区にある地域資源を活用しながら、地区内外の多様な人が参画するイベントを開催 ・三津浜地区のまちづくり活動の支援や「町家バンク」の管理運営を行う「三津ハマル」を開設 ・「三津浜地区の食文化」の普及に向けた取り組み ・チャレンジショップの管理運営 ・シェアショップの管理運営 ・地域資源の情報発信 ・移住希望者等へのニーズ調査 ○三津浜地区の活性化に寄与する活動を行う団体に対し、対象経費の2分の1で10万円を限度とした支援を実施						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	三津浜地区にぎわい創出実行委員会への負担金		12,850
予算 (千円)	事業費計	12,870	13,020	9,058					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	12,870	13,020	9,058					
決算 (千円)	事業費計	12,754	12,936			主な 取組 内容 【R4】	○三津浜地区にぎわい創出実行委員会へ負担金の支出・運営支援 ・イベントの開催・三津浜焼きのブランド化 ・チャレンジショップ・シェアショップの管理運営・町家バンクの運営管理・地域資源の情報発信・移住希望者等へのニーズ調査		
	国費・県費								
	市債								
	その他		2,000						
	一般財源	12,754	10,936						
人役	正規職員	2.0	2.0	2.0		特記 事項			
	その他								
	合計	2.0	2.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	町家バンクの登録物件数		目標	146	173	188	191	「町家バンク」制度を地区内に周知啓発することで、登録物件の目標を達成することができた。	
			実績	170	185				
	累計で増	件	達成率	900%	500%				
成果指標	町家バンクの借り手と貸し手のマッチング		目標	77	93	100	102	三津浜地区の魅力を発信することで、マッチング件数の目標を達成することができた。	
			実績	91	98				
	累計で増	件	達成率	800%	350%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	町家バンクの登録物件数及びマッチング件数ともに増加したことで、地区内の新たなにぎわいの創出につながったため。							
課題	特に無し					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	令和6年度末に今後の方向性を示す地域振興構想を策定予定のため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	地域におけるまちづくり担当	連絡先	948-6963
------	-------------	-----	----------	-----	---------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	地域におけるまちづくり推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
61111							
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	市民参画を推進する						
施策	市民主体のまちづくり		○	○	○	○	
主な取組	地域団体活動への支援	根拠法令	松山市地域におけるまちづくり条例、まちづくり基本構想、まちづくり基本計画				
取組みの柱	まちづくり協議会などの地域団体への活動支援						
目的・背景	住民自治組織「まちづくり協議会」の設立や設立後の支援を通じて市から一定の権限・財源・責任を移譲することで、自助・共助・公助の原則に基づく住民主体のまちづくりを推進し、地域分権型社会の実現を目指す。						
対象・内容	「まちづくり協議会準備会」及び「まちづくり協議会」へ「松山市地域におけるまちづくり交付金」・「松山市地域におけるまちづくり補助金」を支出するほか、以下の支援を行う。 ①設立支援(各地区で勉強会や説明会を実施し、制度の主旨や概要を周知) ②設立後の支援(協議会設立のための組織づくりや規約づくりなどの技術的支援、会議等への出席、まちづくり計画の策定支援、事業運営のアドバイス、各協議会同士の交流や情報交換機会の創出) ③広報活動(まちづくり協議会の取組を周知するための広報) ④情報交換(「地域力パワーアップ大会」の開催を通じた、まちづくり協議会活動の情報交換)						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動推進費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費 (千円) 【R4 決算】	地域におけるまちづくり 交付金		50,935
予算 (千円)	事業費計	76,237	77,429	76,226			地域におけるまちづくり 補助金		19,867
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	76,237	77,429	76,226					
決算 (千円)	事業費計	67,876	72,488			主な取組 内容 【R4】	まちづくり協議会への交付金・補助金の支 出、まちづくり計画の策定支援、他地区の 取組に関する情報提供、未設立地区への情 報提供、準備会の設立等の支援、コミュニ ティアドバイザーの派遣		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	67,876	72,488						
人役	正規職員	5.0	5.0	4.0		特記 事項			
	その他								
	合計	5.0	5.0	4.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	フェイスブック松山市まちづくり情報局のリーチ数		目標	20,000	20,000	20,000	20,000	コロナウイルス感染症の影響下で、まちづくり協議会の活動が制約され、掲載する記事が少なかった。	
			実績	20,217	18,483				
	単年で増	件	達成率	101%	92.4%				
成果指標	まちづくり協議会・設立準備会の設立数		目標	37	39	39	39	1地区で設立されたが、担い手の不足など、様々な要因により未設立地区が存在する。	
			実績	29	30				
	累計で増	団体	達成率	78%	76.9%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	新型コロナウイルス感染症の影響で、まちづくり協議会を含む地域の活動に制約があったため。							
課題	コロナ影響後のまちづくり協議会の活動活性化と持続的運営。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	各地区のまちづくり協議会への支援を通じて、地域の魅力創出や課題解決などの取組みにつながっているため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	市民活動推進担当	連絡先	948-6330
------	-------------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	地域協働活動応援事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
61111							
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	市民参画を推進する						
施策	市民主体のまちづくり		○	－	－	－	
主な取組	地域団体活動への支援	根拠法令					
取組みの柱	まちづくり協議会などの地域団体への活動支援						
目的・背景	地域協働活動応援事業は、より暮らしやすい地域づくりのため、町内会連合会や町内会・自治会などの地域コミュニティ組織を支援し、また、地域住民が自主的に行う防犯、社会福祉、環境美化などの地域活動を推進する。 平成25年度の広報委員制度見直しに伴い、これまで広報委員が担っていた広報・広聴業務や防犯活動、募金活動などの地域活動が停滞する懸念があったため、制度見直し後も円滑に地域活動が実施されるよう、平成26年度から、地域が行う様々な活動を支援する本事業を開始した。						
対象・内容	(1)地域協働団体の支援:松山市内40地区の地域協働団体(まちづくり協議会、町内会連合会など)と地域協働活動の実施に関する協定書を締結し、その協定に基づいて交付金を交付する。また、各地域協働団体が開催する定例会に市職員が出席し、市政の周知や地域に対する依頼を行うほか、地域からの意見や要望を聴くなど、地域との連携を図る。 (2)地域活動保険への加入:地域の方々が安心してコミュニティ活動に参加できるよう、地域協働活動中のケガや事故を対象とした保険制度に加入する。 (3)町内会への加入促進:町内会への加入率の低下により、地域活動の停滞が懸念されることから、町内会等の状況調査を実施して加入率の推移を把握するとともに、町内会加入啓発パンフレットを転入者に配布して啓発を行う。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費 (千円) 【R4 決算】	地域協働活動応援事業交付金	56,222	
予算 (千円)	事業費計	56,977	57,831	58,569					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	56,977	57,831	58,569					
決算 (千円)	事業費計	57,146	57,235			主な取組 内容 【R4】	地域協働団体への支援 地域活動保険への加入 町内会への加入促進		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	57,146	57,235						
人役	正規職員	1.6	1.6	1.6		特記 事項			
	その他								
	合計	1.6	1.6	1.6					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	町内会等への加入促進チラシ活用の案内		目標	1	1	1	1	町内会連合会の総会の回数を周知目標としているため	
			実績	1	1				
	現状維持	%	達成率	100%	100%				
成果指標	町内会加入率		目標	83	83	83	83	住民意識の変化に伴う地域活動への関心の低下	
			実績	73	71				
	単年で増	%	達成率	88%	86%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	地域協働団体連絡会等で加入啓発のチラシを配布し啓発に努めたことや、減少に歯止めをかけるため町内会連合会などの地域協働団体が開催する定例会に職員が出席し加入啓発に努めたため。							
課題	住民意識の変化に伴う地域活動への関心の低下により、町内会への未加入者が増加している。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	地域コミュニティ活動の維持及び住民の自治意識の醸成に寄与するため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	市民活動推進担当	連絡先	948-6330
------	-------------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	コミュニティ活動振興事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	1:直営	
61112							
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	市民参画を推進する		○	－	－	－	
施策	市民主体のまちづくり						
主な取組	地域団体活動への支援	根拠法令					
取組みの柱	地域コミュニティ活動の拠点整備						
目的・背景	旧北条市から引き継いだコミュニティ集会所の修繕等について、従来、賞書により地元負担となっていたが、集会所の老朽化や建物が市有施設であるため、市への要望が多くなり平成23年度からは一定の条件を満たす場合は対応することとなった。修繕の要望に基づき予算の範囲内で工事を行い、従来から住民にとって最も身近なコミュニティ活動の拠点となっていた集会所を維持する。 コミュニティ助成は、一般財団法人自治総合センターが、昭和53年度に宝くじの収益金を財源として開始したもので、地域住民が自主的に行うコミュニティ活動の推進を図る事業等に助成を行う。						
対象・内容	・北条コミュニティ集会所の修繕等は、当課が管理する85カ所を対象とする。 ・消防法で規定された21カ所の集会所について消防機器の保守点検業務を実施し、地域コミュニティ活動の基盤強化を図る。 ・地区へ譲渡された41カ所の「アナログ同報系防災行政無線」(北条コミュニティ放送設備)の修繕があった場合は、10万円を限度に1/2を補助する。 ・コミュニティ助成は、地域コミュニティ団体を対象に一般財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成の要望の取りまとめや周知を実施する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	コミュニティ助成事業補助金		35,500
予算 (千円)	事業費計	31,391	39,001	4,312			北条コミュニティ集会所の修繕費		2,800
	国費・県費						委託料		138
	市債								
	その他								
	一般財源	31,391	39,001	4,312					
決算 (千円)	事業費計	30,555	38,446			主な 取組 内容 【R4】	北条コミュニティ集会所の修繕		
	国費・県費						北条コミュニティ集会所の消防設備機器点検		
	市債						コミュニティ助成事業による地域団体支援		
	その他	2,412	35,500						
	一般財源	28,143	2,946						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	地域団体へのコミュニティ助成事業の周知		目標	1	1	1	1	地域コミュニティ活動のため積極的な制度の利用を促した。	
			実績	1	1				
	現状維持	%	達成率	100%	100%				
成果指標	集会所の修繕申請件数		目標	100	100	100	100	施設老朽化のため予算に対して要望が上回っている。	
			実績	100	100				
	単年で増	%	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	町内会連合会等の定例会で周知し、助成事業の活用を促したため。 修繕要望のあった複数のコミュニティ集会所について、工事を工夫し予算を効率的に配分したため。							
課題	北条コミュニティ集会所の老朽化により、今後も修繕要望の増加が懸念される。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	地域コミュニティの維持・活性化のため

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	市民活動推進担当	連絡先	948-6330
------	-------------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	NPOサポートセンター運営管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
61121							
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	市民参画を推進する		○	－	○	－	
施策	市民主体のまちづくり						
主な取組	市民協働の推進	根拠法令	松山市市民活動推進条例、まつやまNPOサポートセンター事業実施要綱				
取組みの柱	NPOなどへの活動支援						
目的・背景	平成10年12月に「特定非営利活動促進法」が施行されたことにより、平成13年度に松山NPOサポート委員会を設置し、平成14年7月にまつやまNPOサポートセンターを開設した。市民活動の拠点として、人材育成、情報収集・提供等の事業を展開し、NPO等の活動を支援する。						
対象・内容	まつやまNPOサポートセンターが対象。 実態ニーズ調査、相談・団体個別支援、講座の開催・企画、情報発信(メルマガ等)、市民活動交流などを実施している。 委託先:特定非営利法人 アクティブボランティア二十ー						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動推進費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費 (千円) 【R4 決算】	まつやまNPOサポートセンター運営事業の委託費		17,727
予算 (千円)	事業費計	18,081	18,233	18,402			まつやまNPOサポートセンターのパソコン等賃借料		153
	国費・県費								
	市債								
	その他								
一般財源		18,081	18,233	18,402					
決算 (千円)	事業費計	18,045	18,135			主な取組 内容 【R4】	・NPOの活動等に関する講座の開催 ・NPOの運営等に関する相談対応 ・NPO関連の情報の発信 ・マッチングおよびひとものプラットフォーム運営		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	18,045	18,135						
人役	正規職員	0.4	0.4	0.4		特記 事項			
	その他								
	合計	0.4	0.4	0.4					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	NPOの活動等に関する 講座の開催回数		目標	15	15	15	15	新型コロナウイルス感染症の拡大にもかかわらず、オンライン形式での実施をする等の工夫を行ったため。	
			実績	12	12				
	単年で増	回	達成率	80%	80%				
成果指標	NPOの運営等に関する 相談対応の件数		目標	1,000	1,000	1,000	1,000	新型コロナウイルス感染症の拡大によって、まつやまNPOサポートセンターが入る施設が休館となった期間があったため。	
			実績	1,045	923				
	単年で増	件	達成率	104.5%	92.3%				
事業評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調							
	理由	まつやまNPOサポートセンターが主体となって実施する講座や情報の発信は積極的に行うことができたため。 やむを得ない事情により、相談対応の件数や来場者数が一時的に減少しているが、回復基調にあるため。							
課題	特に無し。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	相談対応の件数の増加について、対応できる体制を整えているため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	市民活動推進担当	連絡先	948-6330
------	-------------	-----	----------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	市民活動推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
61121							
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	市民参画を推進する		○	○			
施策	市民主体のまちづくり		根拠法令	松山市市民活動推進条例、松山市NPO登録要綱、松山市市民活動推進補助金交付要綱			
主な取組	市民協働の推進						
取組みの柱	NPOなどへの活動支援						
目的・背景	市民一人ひとりが主体的、自立的にまちづくりを進める社会を実現するため、市民活動の推進に関し必要な施策を実施する。 平成10年12月「特定非営利活動促進法」施行 平成11年度 市民活動モデル調査検討会の設置 平成12年度 松山市NPO検討委員会の設置 平成13年度 松山市NPOサポート委員会の設置 平成14～16年度 NPO成熟促進委員会の設置 平成17年度から 市民活動推進委員会の設置						
対象・内容	市民活動団体 約200団体が対象。 市と市民が一体となって市民活動を支援する仕組みとして市民活動推進基金を設置し、市民活動団体に対して事業費の一部を助成している。 また、市民活動団体等の表彰や活動報告会の開催等により市民活動に関する啓発を積極的に行うとともに、官民連携により市民の社会貢献に対する意識の高揚を図る。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	民生費	項	社旗福祉費	目	市民活動費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費 (千円) 【R4 決算】	松山市市民活動推進基金 積立金		5,852
予算 (千円)	事業費計	16,397	15,776	9,938			松山市市民活動推進補助 金		5,486
	国費・県費	0	0	0			松山市市民活動推進委員 報酬		166
	市債	0	0	0					
	その他	12,704	12,426	9,500					
	一般財源	3,693	3,350	438					
決算 (千円)	事業費計	11,481	11,515			主な取組 内容 【R4】	市民活動を行う団体への事業補助金の継 続 町内の市民活動体験研修の継続		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	8,141	8,412						
	一般財源	3,340	3,103						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項			
	その他								
	合計	1.0	1.0	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)
活動 指標	市民活動体験研修派遣者		目標	15	15	15	15	NPO団体と協力し魅力ある研修内容となるよう努めたため。
			実績	19	26			
	単年で増	人	達成率	126.7%	173.3%			
成果 指標	市民活動推進基金受付件 数		目標	120	120	120	120	新型コロナウイルス感染症の影響によって、企業からの寄附件数が減少したため。
			実績	122	112			
	現状維持	件	達成率	101.7%	93.3%			
事業 評価	評価	一部の取組は期待した成果をあげられなかったが、全体としては概ね順調						
	理由	研修内容の充実により市職員の参加意欲が向上したことで、目標を大幅に達成することができた。 寄附を受けている企業や個人に改めて寄附の依頼をしたことや、これまで寄附を受けていない市内の企業に案内を送付したことで概ね目標を達成することができた。						
課題	特になし。			今後の 方向性	現行のまま継続	左記の 理由	市民活動に関心を持ち理解を示す機会を維持しているため。	

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当G	地域におけるまちづくり担当	連絡先	948-6963
------	-------------	-----	----------	-----	---------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	表彰制度実施事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	5:補助金・負担金	
69999							
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略		市長公約
政策	その他		—	—	—	—	
施策	その他						
主な取組	その他	根拠法令	松山市市政功労者表彰条例、松山市表彰規則				
取組みの柱	その他						
目的・背景	本市の名声を高め、郷土の誇りとして、社会の希望と活力の高揚に寄与したもの、広く市民へ感動を与えたもの、又は本市の公益等に尽くしその寄与するところが著しいもの及び市民等の模範となる優れたものに対して表彰を行うことで、市民意識の高揚に貢献することを目的としている。平成12年度に「松山市栄誉賞」「かがやき松山大賞」の2表彰制度を新設し、既存の市長表彰を「きらめき松山市民賞」として整理した。平成24年度には「松山市文化スポーツ栄誉賞」表彰を新設した。						
対象・内容	「松山市栄誉賞」「松山市文化スポーツ栄誉賞」「かがやき松山大賞」「きらめき松山市民賞」に該当する、松山市にゆかりのある人へ表彰状と副賞等を贈る。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動推進費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	報償費		608
予算 (千円)	事業費計	734	665	926					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	734	665	926					
決算 (千円)	事業費計	720	665			主な 取組 内容 【R4】	令和元年度からかがやき松山大賞を年3回程度の表彰式とし、令和4年度は3回実施した。		
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	720	665						
人役	正規職員	2.0	2.0	2.0		特記 事項			
	その他								
	合計	2.0	2.0	2.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和5年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	表彰式の開催		目標	3	3	3	3	当初の予定通り、表彰式を3回実施した。	
			実績	3	3				
	現状維持	回	達成率	100%	100%				
			目標						
			実績						
			達成率						
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	合同での表彰式とすることで、様々な分野の被表彰者が互いに刺激し合う場とすることができた。また、合同実施というスケールメリットを生かし、広く情報発信することができた。							
課題	特になし					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本市の名声を高める活躍を表彰し、広く市民に周知することは不可欠な取組である。